＜様式1＞

平成 27年 06月 06日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	湿原の風と光の家
グループの名称	グリーンlifeくしろ
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	--

（グループ代表者）

代表者名	三宅　直志　代表者印
代表者所属先	札幌トーヨー住器釧路 株式会社
代表者構成員番号	Ⅷ-1
代表者所在地	北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地
代表者電話番号	0154-36-9326

（グループ事務局）

事務局事業者名	札幌トーヨー住器釧路 株式会社
事務局構成員番号	Ⅷ-1
事務局担当者名	三宅　直志　印
事務局郵便番号	088-0623
事務局所在地	北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地
事務局電話番号	0154-36-9326
事務局FAX	0154-36-9346
事務局担当者E-mail	kushiro_green@yahoo.co.jp

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	湿原の風と光の家
２．グループの名称(必須)	グリーンlifeくしろ
３．直近採択グループ番号(必須)	---
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	道東
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	三宅　直志
７．グループ代表者の所属先(必須)	札幌トーヨー住器釧路 株式会社
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅷ-1
９．グループ代表者所在地(必須)	北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地
１０．グループ代表者電話番号(必須)	0154-36-9326
１１．グループ事務局事業者名(必須)	札幌トーヨー住器釧路 株式会社
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅷ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	三宅　直志
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	088-0623
１５．グループ事務局所在地(必須)	北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地
１６．グループ事務局電話番号(必須)	0154-36-9326
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	0154-36-9346
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kushiro_green@yahoo.co.jp

	（構成員数）	（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	2	海外産木材の場合、原木供給・製材業者のグループ参加は難しい。その為、該当する場合は構成員には含まず、供給ルート下流の構成員による証明によって代替する。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	2	海外産木材の場合、原木供給・製材業者のグループ参加は難しい。その為、該当する場合は構成員には含まず、供給ルート下流の構成員による証明によって代替する。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	供給ルートによっては流通を含まない地域がある。
Ⅳ. プレカット	4	構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。
Ⅴ. 設計	4	
Ⅵ. 施工	5	
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ. 木材を扱わない流通	1	
Ⅸ. Ⅰ～Ⅷ以外の業種	1	

A．使用する地域材に関する事項　(必須)

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
道産材	国内	北海道における新たな合法木材証明制度	1	国内
国産材	国内	北海道における新たな合法木材証明制度	1	国内
国外産材	国外	北海道における新たな合法木材証明制度	1	国外
合法木材	国内	合法木材証明制度	3	国内
合法木材	国外	合法木材証明制度	3	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数　(必須)

長寿命型（長期優良住宅） 経験工務店＋未経験工務店の合計	3 戸			地域材加算合計	3 戸
うち経験工務店による長期優良住宅　合計	3 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	0 戸		
うち申請が確実	1 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算（うち申請が確実）	1 戸
うち申請が未確定	2 戸	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	2 戸
高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	7 戸			地域材加算合計	7 戸
うち申請が確実	1 戸			地域材加算（うち申請が確実）	1 戸
うち申請が未確定	6 戸			地域材加算（うち申請が未確定）	6 戸
高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	0 戸			地域材加算合計	0 戸
うち申請が確実	0 戸			地域材加算（うち申請が確実）	0 戸
うち申請が未確定	0 戸			地域材加算（うち申請が未確定）	0 戸

C．平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)

優良建築物		
うち申請が確実	棟	㎡
うち申請が未確定	棟	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)

1社1棟ずつ配分した後、受注見込みのある施工店に優先的に割振っていく。

E. 平成26年度の執行状況（H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須）

長期優良住宅			完了実績見込み	
採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	竣工済　戸 / 竣工予定　戸
木造建築物				
採択棟数	棟	採択床面積	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外産木材の場合、原木供給・製材業者のグループ参加は難しい。その為、該当する場合は構成員には含まず、供給ルート下流の構成員による証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
1	Ⅰ － 11	丸十木材　株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73番地2	0155-59-2424
1	Ⅰ － 12	佐藤木材　株式会社		084-0912	北海道釧路市星が浦大通4丁目5-1	0154-51-2918
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外産木材の場合、原木供給・製材業者のグループ参加は難しい。その為、該当する場合は構成員には含まず、供給ルート下流の構成員による証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
1	Ⅱ － 11	丸十木材　株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73番地2	0155-59-2424
1	Ⅱ － 15	丸善木材　株式会社		088-0626	北海道釧路郡釧路町桂4丁目15番地	0154-37-1561
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
供給ルートによっては流通を含まない地域がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
1	Ⅲ － 11	丸十木材　株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73番地2	0155-59-2424
1	Ⅲ － 13	ランバーウッド		088-2153	北海道釧路郡釧路町緑1-55	0154-40-4622
1	Ⅲ － 17	池田木材株式会社		088-0605	北海道釧路郡釧路町別保原野南24線64番93	0154-40-3788
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
1	Ⅳ － 10	丹頂プレカット 合同会社		085-0217	北海道釧路市阿寒町北町3丁目33番19	0154-66-3106
1	Ⅳ － 11	丸十木材 株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73番地2	0155-59-2424
1	Ⅳ － 14	道東プレカット協同組合		080-1189	北海道河東郡士幌町字中士幌幹線102番1	0156-47-4700
1	Ⅳ － 18	有限会社 プレカット105		088-0605	北海道釧路郡釧路町別保原野南24線64番93	0154-40-3788
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
1	Ｖ － 2	株式会社　青木建設		084-0912	北海道釧路市星が浦大通3-8-32	0154-51-0553		
1	Ｖ － 4	アサノ企画設計		085-0057	北海道釧路市愛国西2丁目27番14号	0154-36-2140		
1	Ｖ － 8	株式会社　茂徳		084-0901	北海道釧路市昭和北1-17-1	0154-51-9034		
1	Ｖ － 9	アーキシード		088-0623	北海道釧路郡釧路町光和5丁目2	0154-36-5995		
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							○	○
1	Ⅵ - 2	株式会社 青木建設		084-0912	北海道釧路市星が浦大通3-8-32	0154-51-0553	○	
1	Ⅵ - 3	家工房株式会社		085-0063	北海道釧路市文苑3丁目4番8号	0154-37-0155		○
1	Ⅵ - 5	有限会社 熊谷建設工業		085-0814	北海道釧路市緑ケ岡2丁目10-4	0154-43-0431		○
1	Ⅵ - 6	株式会社 住まいるハウジング		084-0910	北海道釧路市昭和中央5丁目19番1号	0154-52-9950		○
1	Ⅵ - 7	有限会社 丸裕田中建設工業		085-0065	北海道釧路市美原5丁目60番2号	0154-36-1313		○
	Ⅵ -							
	Ⅵ -							
	Ⅵ -						

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
1	Ⅵ － 2	株式会社 青木建設	6 戸	6 戸	5 戸	4 戸	○	
1	Ⅵ － 3	家工房株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 5	有限会社 熊谷建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 6	株式会社 住まいるハウジング	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 7	有限会社 丸裕田中建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
1	Ⅵ － 2	株式会社 青木建設	6 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 3	家工房株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 5	有限会社 熊谷建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 6	株式会社 住まいるハウジング	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
1	Ⅵ － 7	有限会社 丸裕田中建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－4(優良建築物用)

<様式 2-2・Ⅵ-4>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年(1月～12月)実績						補助金の活用実績
Ⅵ. 施工-4(優良建築物)			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
1	Ⅵ － 2	株式会社 青木建設	6 戸	6 戸	5 戸	4 戸	㎡	㎡	
1	Ⅵ － 3	家工房株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
1	Ⅵ － 5	有限会社 熊谷建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
1	Ⅵ － 6	株式会社 住まいるハウジング	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
1	Ⅵ － 7	有限会社 丸裕田中建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

＜様式 2-2･Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅷ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅷ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
1	Ⅷ － 1	札幌トーヨー住器釧路 株式会社		088-0623	北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地	0154-36-9326
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
13	Ⅸ － 20	株式会社 フォーラム・ジェイ		175-0082	東京都板橋区高島平9-8-2	03-5920-7050
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 湿原の風と光の家	（地域型住宅供給対象地域） 道東
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） グリーンlifeくしろ	（結成年） 2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏は比較的涼しいとは言え、冬は時に－20℃を超え、夏と冬の寒暖差は40℃以上になるため、しっかりとした断熱性能が重要だと考える。したがって、提供する地域型住宅のタイプにかかわらず断熱性能等級4を必須とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	プラン提案時に、夏場における室内の通風、そして冬場の日射の取り込みを考慮した設計をエンドユーザーに提案する。 自然が齎す風と光を活かした住宅を提案・提供する事が、釧路エリアの気候・風土にあった“新たな”暮らしに繋がると考える。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	同上	◎
④ ①～③の背景	北海道釧路は「釧路湿原」「阿寒」の2つの国立公園をはじめとした、雄大な自然に恵まれた町である。冬は寒いが、夏は比較的涼しく、平均気温は20℃前後であり、25℃を超えることは少ない。そのため、夏は窓を開けるだけで冷涼な風を感じる事が出来る。しかし、それ故に釧路において、通風に配慮した設計の住宅が提供される事は少ない。また、一方で釧路の日照率は北海道でもトップクラスである。 以上を背景に、当グループ「グリーンlifeくしろ」は雄大な釧路の自然が齎す風と光を存分に活かした、エコで快適な暮らしを実現する住宅「湿原の風と光の家」を提供していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください	“グリーンlife”を提供するグループとして環境に配慮し、住宅に使用するトイレについては節水型トイレを標準とする。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	物件ごとの性能のバラつきを抑えるため、使用する高性能断熱材を発砲ポリウレタン製のものに統一する。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	一部の資材において、購入先を統一する。	◎
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	生産の合理化、新しい制度や技術、その他、当グループのコンセプトでもある通風や日射の取り込み等、生産技術等に係る勉強会を実施する。その際にはグループ外の講師も招き、常に新たな知識・技術を身に着けていく。	◎
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	上記の勉強会実施に当たり、グループ外の講師との折衝や、開催スケジュールの調整、開催日の連絡等を担う事とする。	◎
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	発砲ポリウレタンの断熱材を使用する。 上記イ-a-①の取組みと重複するが、海霧が多い事でも有名な釧路は湿度が比較的高い。 湿気に強い発砲ポリウレタンの断熱材を使用し、安心を提供する事が信頼性向上に繋がると考える。	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	全棟に気密測定を実施し、結果をエンドユーザーに専用の書式にて報告する。	◎
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	一部の資材において、購入先を統一する。	◎
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	断熱材において、長期の無結露保証を実施する。 上記①の取組みとあわせ、より信頼性の向上が期待できる取組みであると考える。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		今年度においては特に設定しない。	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）湿原の風と光の家	（地域型住宅供給対象地域）道東
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グリーンlifeくしろ	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	グループ構成員の情報サービス機関を利用し、住宅タイプに係らず長期（30年）の住宅履歴管理を実施する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	グループで共通の長期間における定期点検時期及び点検内容を設定する。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	住宅を長く快適に使用するための、メンテナンス方法等を記載した冊子等を作成し、引渡し時にエンドユーザーにお渡しする。	○
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	現段階において委員会の設置については予定していないが、今後グループとして活動していく中で、意見交換等を行っていく。	○
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	他のグループ構成員によって、引き渡し後の定期点検やメンテナンス等を引き継ぐ、助け合いの仕組みを構築していく。	○
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	今年度においては特に設定しない。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		今年度においては特に設定しない。	

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	生産の合理化、新しい制度や技術、その他、当グループのコンセプトでもある通風や日射の取り込み等、生産技術等に係る勉強会を実施する。その際にはグループ外の講師も招き、常に新たな知識・技術を身に着けていく。 また、グループ構成員による地域型住宅提供の際には内覧会を実施。相互の技術力向上を目指す。	◎
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	同上。開催頻度については今後の活動の中で設定していく。	◎
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組	当グループは今年度のグリーン化事業に際して発足したグループの為、初年度においては具体的には設定せず、活動の中で同取り組みについて検討していく期間とする。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組	同上。	◎
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	施工グループにおいては、地域型住宅提供の有無を問わず、全構成員の参加を目指す。	○
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	事務局が中心となって、省エネ技術講習の開催日程等を構成員に通達して、参加漏れを防止する。	◎
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法	生産の合理化、新しい制度や技術、その他、当グループのコンセプトでもある通風や日射の取り込み等、生産技術等に係る勉強会を実施する。その際にはグループ外の講師も招き、常に新たな知識・技術を身に着けていく。	◎
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等	同上。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		今年度においては特に設定しない。	

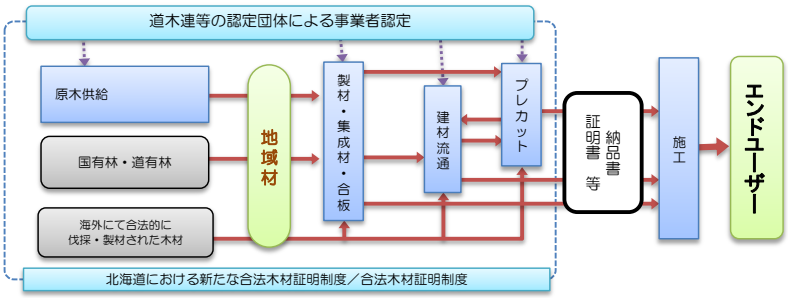
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－3＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 湿原の風と光の家	(地域型住宅供給対象地域) 道東
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グリーンlifeくしろ	(結成年) 2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	選定した地域材を主用構造材に使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	エンドユーザーへのコスト負担軽減の観点から、使用割合については共通ルールで設定はしない。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	当グループにおいては、木造軸組工法を主とする施工メンバーと、木造枠組壁工法を主とする施工メンバーが混在している。木造枠組壁工法においては道産、国産のツーバイ材の調達は難しい。したがって、下記の3点を当グループにおける地域材とする。 ・北海道における新たな合法木材証明制度によって証明される、道産または国産材 ・北海道における新たな合法木材証明制度によって証明される海外産材 ・合法木材証明制度によって証明される国内・国外産の合法木材	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	・原木が国有林・道有林等から供給される地域があるため、 該当地域においては原木供給業者が含まれない。 ・原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給・製材会社の特定及びグループへの参加は困難である。 この為、下流の流れに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。 ・一部の地域においては、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。  	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	地域材の種類に幅を持たせる事で、在庫の少ない材や、価格が高騰している材以外の木材を使用できるものと考える。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	1棟あたり5～6㎥の使用を想定している。 現時点での予定戸数は10戸であるため、5～60㎥程度であると予想している。	○
c	①-1 畳の活用	エンドユーザーのニーズの観点から内装に係る共通ルールは設定しない ただし地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案していく。	◎
	①-2 和瓦の活用	北海道においては冬場に凍害を起こすため瓦については共通ルールは設定しない。	
	①-3 襖の活用	エンドユーザーのニーズの観点から内装に係る共通ルールは設定しない ただし地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案していく。	◎
	①-4 障子の活用	エンドユーザーのニーズの観点から内装に係る共通ルールは設定しない ただし地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案していく。	◎
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	今年度においては特に設定しない。	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	今年度においては特に設定しない。	
	②地域の住まい方の継承につながる取組	地域型住宅の提供を通し、風と光を活かした釧路の"新たな住まい方"を提案する。そしてそれが継承されていくような活動を目指す。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	釧路市の「美しい国づくり政策大綱」を始めとした、供給地域の景観計画に沿うような住宅の提供を心がける、	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組	エンドユーザーのニーズの観点から内装に係る共通ルールは設定しない ただし地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的に提案していく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		今年度においては特に設定しない。	

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。